

横浜市生活環境の保全等に関する条例に基づく
掘削作業開始届出作成の手引き
(開削工事編)

令和6年4月

横浜市みどり環境局水・土壌環境課

届出にあたっての注意事項

(1) 本手引きについて

本手引きは、横浜市生活環境の保全等に関する条例(以下、「市条例」という)に基づく掘削作業開始届出書を作成するための手引き(参考例)です。掘削作業に係る規制内容等を知りたい場合は、別途パンフレットの「地盤沈下と掘削作業 ～掘削作業による規制について～」をご覧ください。

(2) 届出の作成について

本届出は掘削作業開始届出書の鑑と掘削作業の内容等を確認する添付資料により構成されています。作成にあたっては次ページのチェックシートにより、必要な書類が添付されていること及び添付資料に参考例にある届出時のポイントが網羅されていることを確認し、提出してください。

(3) 提出について

当課への提出は1部となりますが、控えが必要な場合は2部作成して下さい。(押印のうえ1部返却します。)また、提出時は担当者が不在等の場合がありますので、事前にアポイントをとっていただけますと、お待たせせずにご案内ができます。

(4) 情報公開について

提出書類については、個人情報を除き原則として全て情報公開対象文書となります。

(5) 担当部署及び連絡先

横浜市みどり環境局 環境保全部 水・土壌環境課 土壌対策担当
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目 50 番地 10
電話番号:045-671-2494 ファクシミリ:045-671-2809
電子メールアドレス:mk-doj@city.yokohama.lg.jp

提出書類チェックシート

書類番号	書類名称・種類（記載事項の注意点）	チェック
	<p>掘削作業開始届出書（細則第 29 号様式（第 2 条第 40 号））</p> <ul style="list-style-type: none"> 様式は、本市ホームページからダウンロードできます。 <p>URL https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/kiseishido/dojo/jiban/kussaku.html</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請書への代表者印は不要ですが、申請者側で必要があれば押印して頂いても構いません。 	□
①	<p>掘削作業を行う場所の案内図</p> <ul style="list-style-type: none"> 掘削作業を行う場所がわかるよう、記載してください。 市販の地図等を複写して利用する場合、その出版社から複製利用に関する承諾を必ず得るようにしてください。 	□
②	<p>土質調査資料</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の掘削作業を行う土地の土質がわかる図面を添付してください。 柱状図を添付する場合は、ボーリング調査位置がわかる図面も併せて添付してください。 ボーリングデータ等に地下水位がわかるものがあれば、地下水位を示していると一目でわかるよう、記載してください。 	□
③	<p>構造物概要(構造物の概要、掘削平面図、掘削横断面図、掘削縦断面図)</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造物の規模等の概要について記載してください。 平面図に 4 m 以上掘削する場所とその面積、断面図に最大掘削場所と最大掘削深度が一目でわかるよう、記載してください。 	□
④	<p>掘削工法選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 工法がどのようなものなのか、地盤沈下の発生を抑制するために、なぜその工法を選定したのか記載してください。 	□
⑤	<p>工程表</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体の工期、地下部の工期が一目でわかるよう、記載してください。 	□
⑥	<p>周辺の地盤の変動等の測定計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 山留、地盤変動及び地下水位等について計測項目、頻度、場所、管理基準、管理体制及び異常時の対応を記載してください。 	□

細則第29号様式（第2条第40号）

掘削作業開始届出書

年 月 日

(届出先)
横浜市長

届出者 住 所 横浜市〇〇区〇〇町1-1
氏 名 〇〇株式会社
代表取締役 横浜 太郎
(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第117条の規定により次のとおり届け出ます。

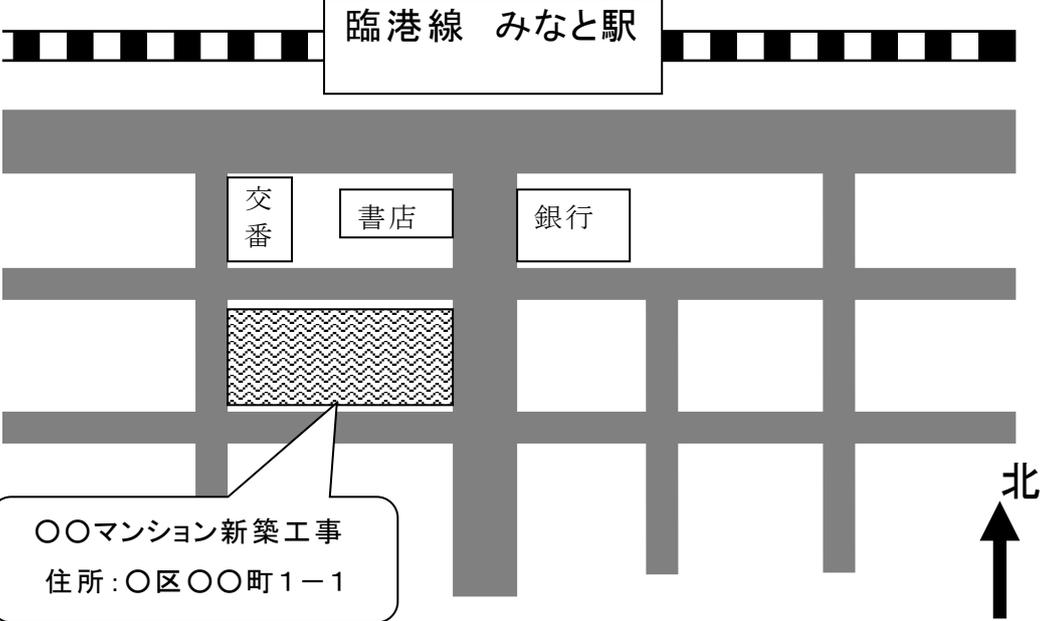
事業の名称	〇〇マンション 新築工事		
事業の目的	マンションの建築		
掘削作業の場所	横浜市〇〇区〇〇町1-1		
種 別	種	工 法	SMW工法 鋼矢板工法
	<input checked="" type="checkbox"/> 開削工事 <input type="checkbox"/> トンネル工事	掘 削 深 さ	最大掘削深度 8 m
工 期	全体の工期	令和〇年〇月〇日 から 令和□年□月□日	
	地下部の工期	令和△年△月△日 から 令和×年×月×日	
担当者氏名 及び連絡先	〇〇株式会社 〇〇支店 担当 横浜次郎 連絡先 045-〇〇〇〇		
添 付 書 類	①案内図 ⑤工程表 ②土質調査資料 ⑥周辺の地盤の変動等の測定計画 ③構造物概要 ④掘削工法選定理由（補助工法を含む）		

地下構造物の完成により新たに掘削を行わなくなる日を記載してください。

山留めの施工時又は、地面を掘り起こす時の、いずれか早く着手する日を記載してください。

(注意) □のある欄には、該当する□内に✓印を記入してください。

①案内図

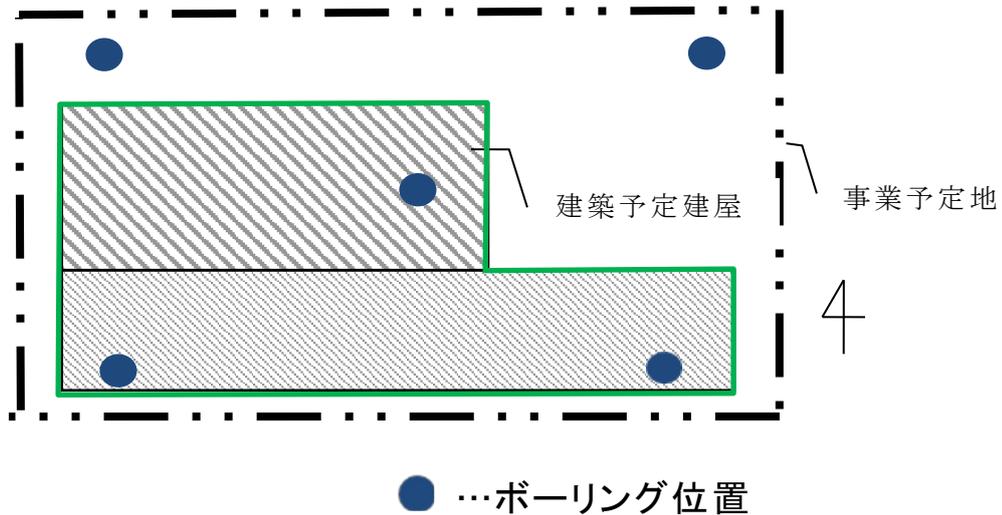


工事場所	横浜市O区OO町1-1 OO駅より徒歩O分
工事事務所	横浜市△区△△丘1-1
作業事務所	横浜市□区□□山1-1

②土質調査資料

5か所について、ボーリングデータを添付する。ボーリング位置は以下のとおり。

ボーリング位置図



ボーリングデータより、自由地下水の水位は GL-〇m、被圧地下水は GL-〇mで確認されています。

届出時のポイント

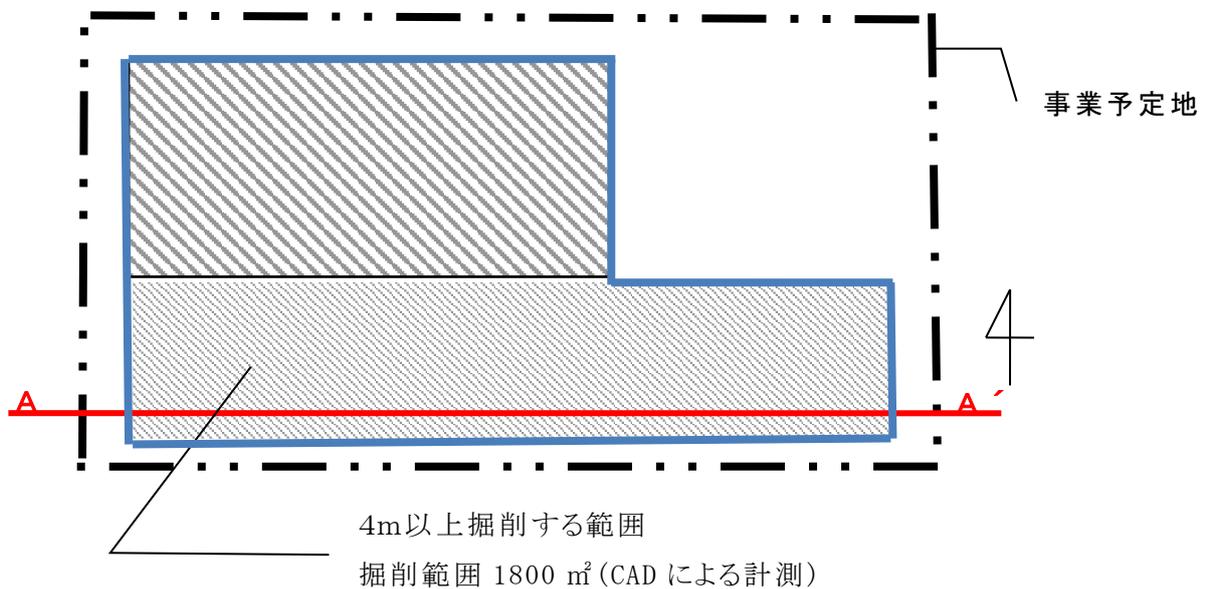
※1 施工範囲の状況がわかる、全てのボーリングデータを添付してください。

※2 ボーリングデータより確認された自由地下水及び被圧地下水の水位を記載してください。

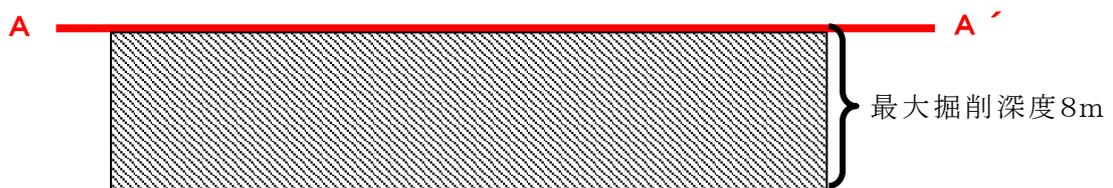
③ 構造物概要 (掘削深度、掘削範囲について)

- ・工事名称: ○○マンション 新築工事
- ・発注者: ○○株式会社
- ・構造階層: 構造物 7 階建て、地下 2 階
- ・最高高さ: 0m
- ・基礎構造: 杭基礎
- ・その他

平面図



断面図



届出時のポイント

※1 構造物の高さや階層等の構造物の概要がわかる資料を添付してください。

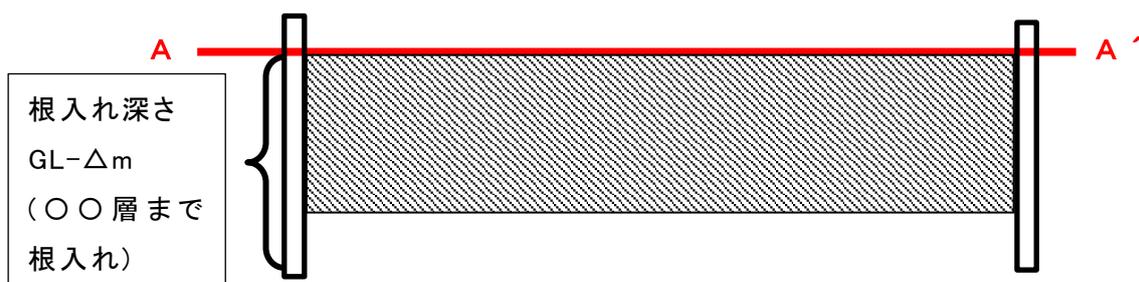
※2 届出の要件に該当していることがわかるよう、平面図、断面図を添付してください。

④掘削工法選定理由

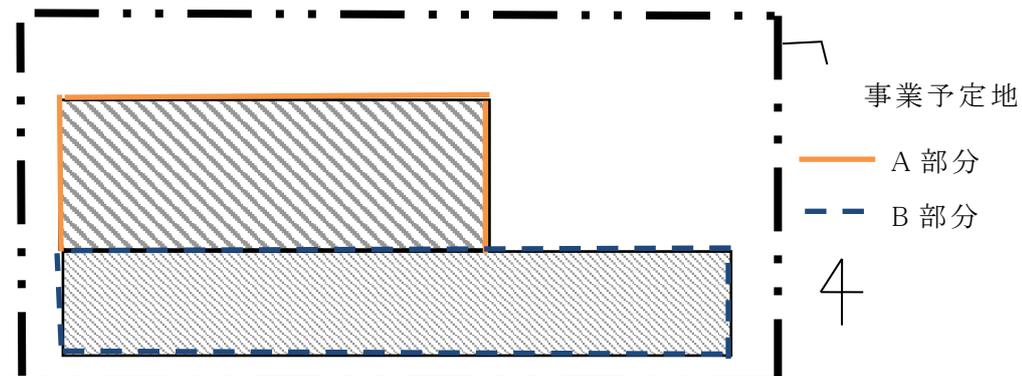
- ・SMW 工法…壁面の崩壊を防止しながら掘削し、鉄筋コンクリートの連続壁を構築し土留め壁とする工法。壁体の剛性が高く、止水性が高い。
- ・鋼矢板工法…接手部をかみ合わせながら、連続的に打ち込み、その強度、剛性、止水性によって土圧、水圧に抵抗する工法。鋼矢板で壁を形成するため、止水性が高い。

	工法	選定理由
A部分 の山留	鋼矢板工法	工事範囲は掘削深さ8メートルで地下水位がGL-〇mです。当該工法は止水性が高く、山留をボーリングデータより支持層(〇〇層)のあるGL-△mまで根入れすることで、地下水位を下げないことから、地下水への影響を抑制し、周辺地盤への影響が少ない、鋼矢板工法を選定しました。
B部分 の山留	SMW 工法	工事範囲は掘削深さ8メートルで地下水位がGL-〇mです。当該工法は止水性が高く、山留をボーリングデータより支持層(〇〇層)のあるGL-△mまで根入れすることで、地下水位を下げないことから、地下水への影響を抑制し、周辺地盤への影響が少ない、SMW 工法を選定しました。

山留断面図



山留位置図



届出時のポイント

※1 周辺地盤や地下水位に与える影響を極力少なくするための工法を選定する視点で工法選定理由を記載してください。

※2 山留等の仮設計画については、根入れ深さ及び支持層(〇〇層)まで根入れ等の、遮水されていることがわかる資料を添付してください。

⑤工程表

	〇月	△月	□月	×月
準備工	[黒線]			
設備工事	[黒線]			
建物工事	[黒線]			
		<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">地下部工期</div>		
		△月△日	□月□日	
外構工事	[黒線]			
全体工期	[緑線]			
	〇月〇日			×月×日

届出時のポイント

※1 工程表内で地下部工期、全体工期がわかるよう明示をお願いします。

※2 届出書(鑑)の全体工期、地下部工期と工程表が一致するよう作成してください。

※3 地下部工期の開始日は山留めの施工時又は、地面を掘り起こす時の、いずれか早く着手する日を記載してください。

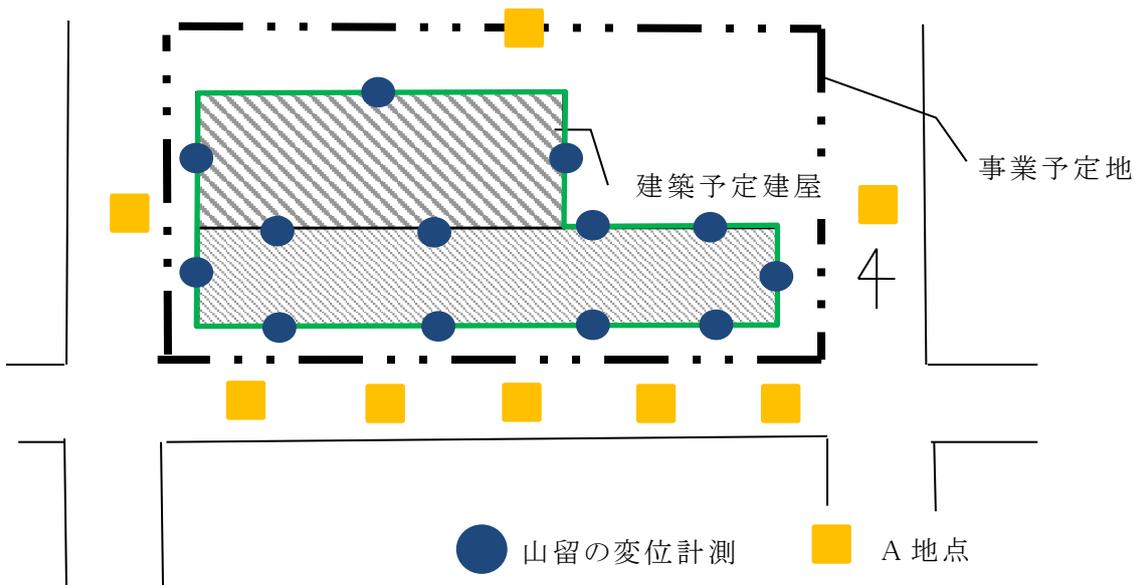
⑥周辺の地盤の変動等の測定計画

地盤変動の測定計画

- ・測定点は山留変位の計測と、周辺の地盤への影響を確認するため工事場所より離れたA地点で行う。
- ・管理基準は、通常時及び〇〇mm以上の沈下が確認された場合の2段階設ける。
- ・段階ごとの対応は下記表に記載する。
- ・急激な地盤の変動や、異常が見られた場合には、管理基準に関わらず適切に対応を行う。

測定場所	測定目的	管理基準	測定頻度	対応
A地点	地盤変動の計測	通常時	〇回／週	
		〇〇mm以上	△回／日	△△mmを超えないよう点検の頻度を増やし、対策等を検討、実行等を踏まえ工事を進める。
		△△mm以上		関係機関と調整し、工事の一時中止を含む検討を行う。
山留	山留の変位の計測	通常時	〇回／週	
		〇〇mm以上	△回／日	□□mmを超えないよう点検の頻度を増やし、対策等を検討、実行等を踏まえ工事を進める。
		□□mm以上		関係機関と調整し、工事の一時中止を含む検討を行う。

測定地点図



届出時のポイント

※1 地盤変動の測定は、指導基準3に基づき、周辺地盤の変動の未然防止の観点から、山留などの敷地内による状況がわかる場所と敷地外への影響を確認できる場所で変動の測定を行ってください。

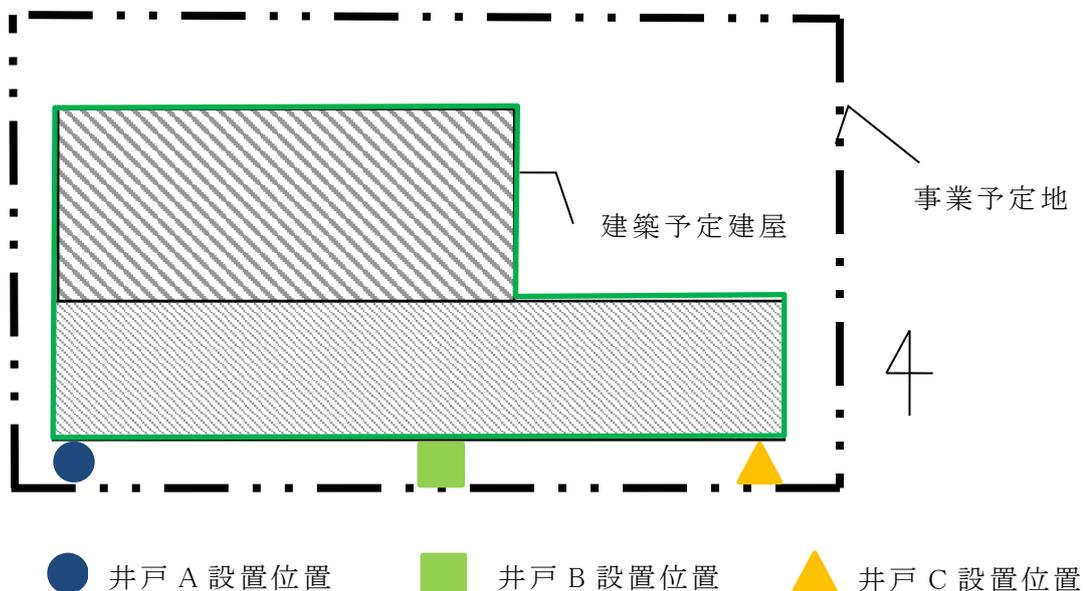
※2 地盤変動の管理基準は未然防止の観点から、段階的に基準を設け、地盤変動を極力起こさない施工管理を行い、その内容を記載してください。

地下水位の測定

- ・測定場所は異常があった場合に確認できる A 地点、B 地点及び C 地点に井戸を設けて測定を行う。

測定場所	測定頻度	管理基準及び対応
A 地点	○回／日	工事着工前に水位を測定し、その水位より変動があった場合には、水位変動が生じた原因を確認し、工事の一時中断を含む対応を行う。
B 地点		
C 地点		

測定地点図



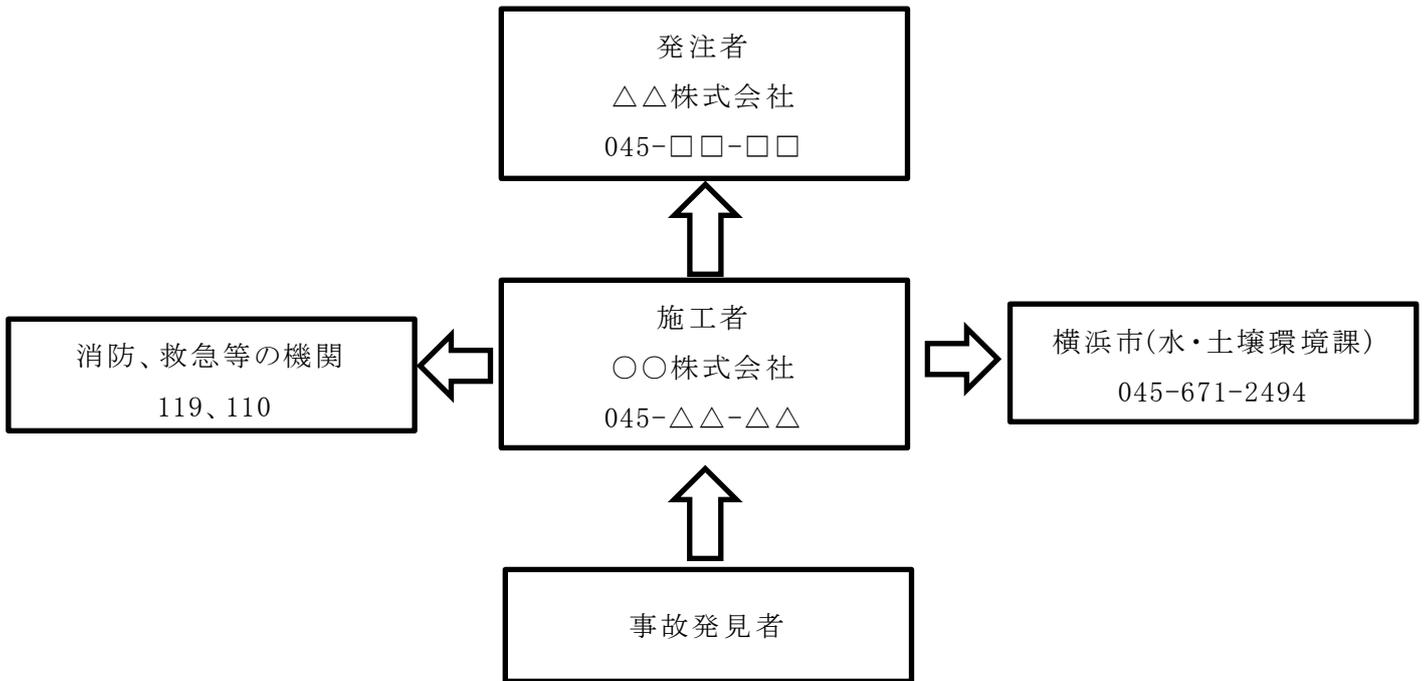
届出時のポイント

※ 観測用井戸の設置位置は、地下水流向や軟弱層の位置等を総合的に判断し、地下水位の変動が確認できる位置で測定を行ってください。

《記入例》

管理体制と緊急時の対応

・緊急時は下記表のとおり、連絡を行う。



届出時のポイント

※ 緊急時に横浜市へ連絡が行われるよう、横浜市(水・土壌環境課)を含めた連絡体制を作成してください。

問い合わせ先

横浜市 みどり環境局 環境保全部 水・土壌環境課 土壌対策担当

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10(市庁舎 27階)

TEL: 045-671-2494 FAX: 045-671-2809

E-mail: mk-dojou@city.yokohama.lg.jp